
からふるわーるどっ！！

AM ヴィス TO

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

からふるわーるビッ！！

【著者名】

Z8835Z

【作者名】

AM ヴィス TO

【あらすじ】

その世界は俺に何をくれるのか。俺はその世界で何をするのか。色にあふれ、色を基軸とするその世界で、俺は家族を入れ、仲間を入れ・・・。

そんなこんなでやつてる今日もみんな楽しくていいなつて思っちゃうのが俺なんだけどな！

心の色でモンスターなどと心友を結び戦い旅をする世界へのトリップ系らびゅこめでー！

序話

「すみません。はい。ありがとうございました。はい、では。」

「ふう・・・」

親戚の電話をおえて、俺は居間のソファーに崩れ落ちた。未だに実感がわかない・・・。

「死んじまつたん・・・だよな・・・。オヤジ・・・。」

オヤジが病氣で死んでしまつてから一週間。親戚は心配してくれて電話やいろいろな世話を焼いてくれる。

母さんは俺が小さい頃にもともと病弱氣味だったためなくなつてしまつた。それから男手一つで俺を育て上げてくれたオヤジこと黒乃隆は俺、遼が高校に上がつてすぐ病氣を患つた。

「俺も母さんのとこへ行くときが来たのか・・・。」なんてつぶやいていたが・・・。死んだ時は、言い方はおかしいかもしれないが、すぐあつさりとしていた。大切にしていた母さんとお揃いだつたという水晶のはまつたバンブルを俺に渡したかと思うと、ゆっくりと息を引き取つた。

「なんとか・・・やつてみるしかねえな・・・。うしつー。」

パシッつと頬を叩いて立ち上がる。俺は机の上にあいた二人のバングルを手に取り部屋へ向かつた。

部屋に入ると、黒い煙が揺れていた。

「つー！火事か！？」「

いや、ちがう。

それは、まるで炎のようになにやらめき、しかし深みの見えない黒さを持っていた。

「なんだ・・・これ・・・」

思わず俺は手をだしてしまった。

俺の手が触れた瞬間、その煙のようなものは俺の腕にまとわりつき全身を覆つかの勢いで俺の体に迫ってきた！！

ツー！

声を出す暇もなく、俺はそれに飲み込まれてしまっていた。最後に見たのは黒のなかにある真っ白な温かみを持つ煙だったというのを俺はしばらくは思い出せなかつたのも仕方なかつたんだと思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8835z/>

からふるわーるどっ！！

2011年12月27日20時45分発行